

## 令和8年度 第3回普及啓発講演会報告書

1. 日時：令和8年7月17日（金）12時30分～13時30分
2. 場所：藤松市民センター1F 会議室（大）
3. 演題：「住み慣れた藤松で自分らしく生きる」  
「Sugoroku de 人生会議」
4. 講師：門司在宅医療・介護連携支援センター 鶴 智子・小林 孝美
5. 参加者：地域住民17名、館長1名、職員1名
6. アンケート結果（回収11名）
  - (1) 性別：男性(3名)、女性(8名)、回答なし(0名)
  - (2) 年代：60代(1名)、70代(5名)、80代(4名)、50代(1名)
  - (3) 一人暮らし(1名)、配偶者と二人暮らし(6名)、子供と同居(3名)、  
配偶者と子供と同居(1名)
  - (4) 本日の内容について  
わかりやすかった(10名)、回答なし(1名)
    - ・すごろくをしながら改めて考えさせられた。
    - ・絵付きのカードでイメージしやすかった。
    - ・楽しかった。・勉強になりました。
  - (5)あなたは、大切にしていることやこれからの治療やケアについて、身近な人と話し合  
って、誰かに伝えておきたいと思いましたが？  
はい(9名)、わからない(1名)、回答なし(1名)
    - ・人生わずかになり、整理しておきたい。
    - ・家族で話せたらと思います。
    - ・家族が近くにいないので考えました。
    - ・一度は、話し合っていた方が良かったと思った。
    - ・日頃の話し合いが大事ですね。
  - (6)その他のご意見
    - ・部屋が狭く(隣の声など)声が聞き取りにくかった。
    - ・意識がなくなったり、認知症になった時は、娘が事務手続きをできるようにしてあります。

